

古くてレトロな倉庫で、アレやコレやお買い物。

保存活用が望まれている門司港レトロ地区の産業遺産「旧福岡食糧事務所門司倉庫」の一般公開に伴い、敷地内の倉庫群、事務所棟、構内の見学会、

門司港レトロ地区で注目の集まるアンティークや雑貨、家具などの展示販売会を同時開催。建設時の様子や倉庫の歴史、北九州フィルムコミッションなどの

誘致により倉庫で撮影された映画やCM、ロケ情報の

紹介展示コーナーなど、見所満載の二日間です。

アンティーク & 雑貨フェア

in 食糧倉庫



●主な出店内容

アンティーク (家具・雑貨)、
骨董品 (古道具)、
ナチュラル雑貨、ハンドメイド雑貨、
ハンドメイドクラフト、アクセサリ
布類、洋装小物、
オーガニック食品、各種スイーツ、
ナチュラルカフェ、
リース、切り花、アレンジメント、
ガーデニンググッズなど

●開催日/ 2010年
11月6日(土)・7日(日)

●開催時間/ 11:00~16:00

●開催場所/ 旧福岡食糧事務所門司倉庫

福岡県北九州市門司区大久保2丁目11番

■主催：北九州市食糧倉庫活用実行委員会

◎イベントに関するお問い合わせ：MAC(門司港アンティークカンパニー) TEL.080-3994-8770 担当/松永

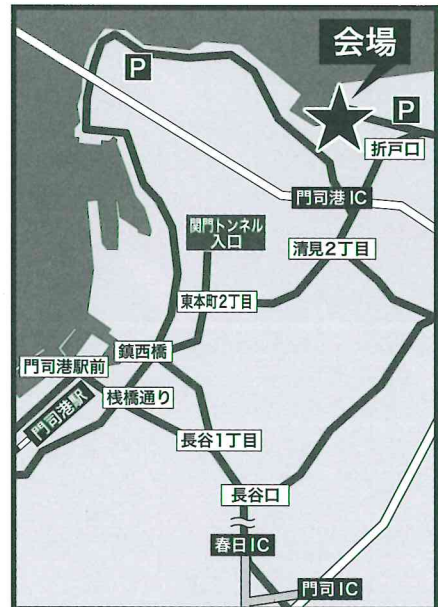
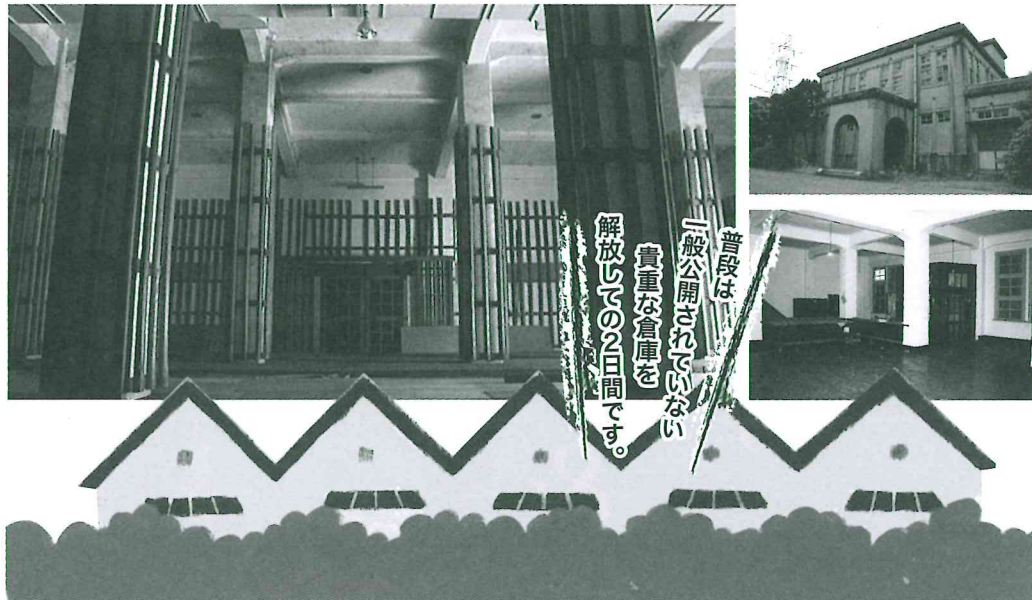
福岡食糧事務所門司倉庫 (旧門司米穀倉庫)

米騒動(大正7年/1918年)を機に制定された「米穀法」(大正10年/1921年)により、政府買入米の長期備蓄倉庫の新設が推進され、昭和3年(1928年)に「旧門司米穀倉庫」として建設されました。倉庫は、約6.3メートルの間隔で計10棟あり、その総床面積は、約1万平方メートルの広大なもので、専用の岸壁と鉄道の引込線を備えており、米穀倉庫として使用されていました。

田野浦の岸壁に面して建ち並ぶ切妻屋根の倉庫群は後に「福岡食糧事務所門司倉庫」となり、現在は、北九州フィルムコミッションが管理して、多くの映画のロケなどに使用されています。

また、2004年3月25日まで田野浦臨港線には、平成筑豊鉄道の金田駅から三井鉱山セメントの石灰石列車運行されており、田野浦の終点より少し手前にある旧門司米穀倉庫前を貨物列車が通過する姿は鉄道ファンに人気がありました。

建設から現在に至るまで、内部を一般に公開されたことのない「福岡食糧事務所門司倉庫」。「アンティーク&雑貨フェアin食糧倉庫」が、歴史的財産である貴重な「産業遺構」の初公開となります。このチャンスをお見逃し無く!



アクセスマップ

..... シャトルバス運行ルート
 ————— 一般車両アクセスルート

アクセス便利! 無料!

イベント期間中 シャトルバス運行!

門司港レトロ観光線(トロッコ列車) 終点「関門海峡めかり」より 会場の「福岡食糧事務所門司倉庫」まで終日シャトルバスを運行します。

一般車両 無料駐車場

お車でご越しの際は、こちらの無料駐車場をご利用ください。
 ※ルートに沿って案内看板を設置していますので、案内に従ってお越しください。
 駐車場から会場までは、徒歩で約3分です。

福岡方面からは降りられませんのでご注意ください。

主催：北九州市食糧倉庫活用実行委員会

◎イベントに関するお問い合わせ：MAC(門司港アンティークカンパニー) TEL.080-3994-8770 担当/松永